



- 1. 例会最重点主義で、例会出席者の純増・出席率を高める。
2. 会員増強目標
3. 福島職業宣言文化
4. 青少年ショート交換事業実施への研究
5. 横断的な委員会ジョイントでの活動強化
6. ローター賞への挑戦
7. ローター財団への理解と活用
8. 米山記念奨学会への協力

飯坂ロータークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
ガバナー 石黒秀司
ガバナー補佐 佐久間弘行
会長 菅野浩司
幹事 斎藤孝裕

1月は職業奉仕月間

2020-2021年度 例会日/木曜日12:30 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋

RI会長 ホルガー・クナーク 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) 電話(024)542-2226 FAX(024)543-1433

通算

第22回 [3030] 例会報告 令和3年(2021)1月14日(木)

出席委員会報告

Table with attendance statistics: 会員総数 39名, 出席会員 22名, 欠席会員 17名, 出席率 56.41%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

- 1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 菅野浩司 会長

◆国歌 ◆ロータリーソング [奉仕の理想]

◆四つのテスト 阿部弥生 職業奉仕副委員長

今週の誕生日 1月11日 松崎義将 会員

lunch time

◆会長の時間



あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。まず、昨年最終例会からの状況についてご報告させていただきます。昨年の最終例会時(年末チャリティー例会)では、会員の皆様から合計8万円のご寄付をいただきました。ご協力、誠にありがとうございました。新年は例年ですと、福島市内8クラブの合同新年会や飯坂方部新年顔合わせ会が行われる予定でしたが、福島市から新型コロナウイルス感染拡大の緊急警報が発出されたこともあり、中止となりました。また、1月7日に予定されていた当クラブの新年初釜例会も、緊急警報と例会場である吉川屋さんの休館の連絡により、急遽中止とさせていただき、本日が新年最初の例会となりました。初釜例会は創立時より毎年開催されており、今年初めて中止という記録を残してしまった年となりました。まだまだ感染拡大が止まらない状況です。理事会で今後の例会の開催について協議し、追って速やかに皆様にご連絡いたしますので、何卒宜しくお願い申し上げます。新年を迎えられ、皆様も「新年の抱負」を立てられたと思います。私は、今年には特に新型コロナには罹らずに家族共々健康で一年を無事に過ごせました。というの、今年の初夢でガンを宣告された夢を見てしまったので、そう思った次第でもあります。これも神のお告げと思いい、今年には早めに健康診断を受診し、健康に留意して過ごそうと決意いたしました。以上、会長の時間とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



第一回米山功労賞 阿部弥生会員

◆幹事報告 斎藤孝裕 幹事

- A. 月信 「ロータリーの友」 1月号 「ガバナー月信」 1月号 No.7
B. 来信

- 1 国際ロータリー日本事務局より 「1月のロータリーレトのお知らせ」 1ドル 104円(現行105円)
2 ガバナー 石黒秀司 氏より 「2021-22年度ガバナーノミニ候補者の件」 「2023-24年度ガバナー 左近八郎会員(福島RC)」 「1/30予定の職業奉仕委員会セミナーの延期について」
3 福島ロータリークラブより 「創立70周年記念大会式典及び祝賀会の案内」 と き 3月27日(土) 記念式典15時~ 祝賀会 17時~
4 県北第二分区ガバナー補佐 佐久間弘行 氏より 「県北第二分区IMの日程について」 と き 4月27日(土) 昼食 12時30分~ IM 13時~

C. メーキャップ報告

- 12/19 ガバナー補佐予定者会議
1/13 福島北高等学校出前教室

ところ ウェディングエルティ 各クラブ5名程度

会 菅野浩司、西山友幸、鈴木牧子、白川敏明、秋葉一彦 各会員

◆国際奉仕委員会からの報告 紺野容樹 国際奉仕委員長

皆さん、あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。国際奉仕委員会からご報告申し上げます。去年の12月17日に例会終了後、国際奉仕委員会としての後期事業計画について、話し合いを持ったのですが、やはり、このコロナ禍の中で大々的にやるのはちょっと難しいのではということでした。また、奨学生の李岳君に話を聞いたところ、特に今、留学生の中で生活に困っているという話は聞こえてこないということでした。今後も、このコロナの状況を見ながら、引き続き何が出来るかを検討していくという内容で終わりました。以上、ご報告いたします。

◆福島北高等学校「出前教室」の報告 西山友幸 社会奉仕委員長

皆さん、あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願いいたします。職業奉仕委員会からの報告ですが、昨日、福島北高校に行きまして、ディスタンスを取りながら、体育館で出前講座を行いました。講師は白川会員が「選挙権について」、その次に秋葉会員が「マネープラン」という演目で、高校生にお話をしたのですが、両会員とも、大変そちらの方の専門家ですので、高校生もだんだん身乗り出して聞くような状況でした。それを考えると、飯坂ロータリークラブとして、今年の3月に卒業する高校3年生に向けて「エール」が送れたのではないかと考えております。以上です。ありがとうございました。

◆スマイリングBOX 村上裕司 会長エレクト 【合計83s】

菅野 浩司 会員	5 s	本年もどうぞ宜しくお願いいたします。本日は中島会員のスピーチ楽しみにしております。
斎藤 孝裕 会員	5 s	今年もよろしく申し上げます。中島さん、スピーチありがとうございます。
島 隆章 会員	5 s	新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。
鈴木 義明 会員	5 s	明けましてお目度うございます。本年もよろしく申し上げます。
佐藤 喜市郎 会員	5 s	本年も宜しくお願い申し上げます。コロナ禍に負けず頑張りましょう。
吾妻 一夫 会員	5 s	今年も宜しくお願い致します。中島さん、スピーチたのしみしています。
中島 定宏 会員	5 s	本日スピーチをさせていただきます。話がまとまらない話しになりそうです。宜しくお願いします。
佐藤 真也 会員	5 s	本年もどうぞ宜しくお願いいたします。純米吟醸摺上川の生酒が発売されました。とても美味しく仕上がりました。よろしく申し上げます。
石川 邦俊 会員	5 s	今年一年間宜しくお願い致します。中島さんのスピーチたのしみしています。
鈴木 重忠 会員	5 s	あけましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。
服部 裕一 会員	3 s	新年明けましておめでとうございます。又、本日の中島会員のスピーチ楽しみです。本年もどうぞよろしくお願い致します。
安齋 裕作 会員	3 s	あけましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。
村上 忠司 会員	3 s	本年も宜しくお願いします。中島さん、スピーチ楽しみにしております。
紺野 容樹 会員	3 s	あけましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。中島さん、スピーチ楽しみにしてました。
鈴木 牧子 会員	3 s	明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。
小笠原 尚史 会員	3 s	本年もよろしく申し上げます。
西山 友幸 会員	2 s	中島さん、スピーチ楽しみです。
松崎 義将 会員	2 s	昨年大変お世話になりました。今年も宜しくお願い致します。
阿部 弥生 会員	1 s	明けましておめでとうございます。ご無沙汰しておりました。頑張ってお出できる様、時間を上手に使います。

◆会員スピーチ

中島定宏 会員



皆さん、あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。今年最初のスピーチが私ということで、非常に緊張しております。色々な話がごちゃ混ぜになるかと思いますが、是非ご容赦いただきたいと思っております。まず、私は昨年2月28日をもって、ほうりんの総支配人という肩書きが外れ、現在は非常勤の相談役として、月数日出かければいいのですが、ロータリーへの出席も仕事の内なので、ロータリーに出ますと、ほとんど仕事が無いというのが現状です。今、一番痛切に悩んでいるのは、目標が無いということです。本当に虚しい毎日なのです。私の子供が川崎の方で認可幼稚園をやっているのですが、用務員でもいいから使ってくれないかと言ったら、親父はあちこち痛いと言うのに、どうやって用務員が務まるのだと断られてしまいました。どうして今この話をしているかという、仕事でもそうですが、プライベートでも目標を持っていない人はダメです。私は、ほうりんに23年間お世話になりました。一番古い社員が私と会長くらいなのです。辞めた社員は総数で考えたら、大変な数になります。我々の仕事は、一年365日24時間営業するような気持ちでないと絶対に務まりません。私がこの仕事をやろうと思った時に目標を立てました。一つは、絶対に福島が一番の葬儀社になろう。もう一つは、私が辞める時に「中島、頼むから辞めないでくれ」と言われる社員になろうと自分で決めました。ですから、社員が嫌な仕事は全部引き受けました。特に苦情処理には、進んで私が行きました。苦情処理というのは、本当は楽しいものなのです。怒っているお客様に納得していただき、もう一度、ほうりんのファンになっていただくということが、本当に商売冥利に尽きます。仕事は目標を持った人は頑張れますが、目標が無い人は頑張れないと思っております。今、私はそれをしみじみと味わっております。本当は夢があったのです。会社を辞めたら、車に乗って好きな所に行って、ぶらぶら旅行してみたいという夢がありました。しかし、このコロナで県外にも出られません。子供がフィリピンの方でも仕事をしており、セブ島やバリ島に家を持っているので、女房を連れてのんびりしたかったのですが渡航禁止になり、これもだめです。何もやる事が無い。これぐらいつまらない人生はありません。皆さんにも、是非仕事に対して目標を持っていただきたい。特に、私たちのような雇われている社員にとっては、絶対に目標が必要です。自分で愚痴をこぼしましたが、人間としては、私は今が一番幸せです。女房も元気だし、目が見えず耳が悪くなりましたが、それで死んだ人はいませんので、私は本当に幸せだと思っております。プライベートは絶対に上を向いてはいけないのです。下を見るのです。自分で最初の仕事に就いた頃の給料、仕事の内容、それから比べて、今皆さんはもっと楽になっているはずなのです。確かに、コロナなどで大変な時期ですが、それは一過性のものであって、これからはもっと続くわけではありません。こういう時期に社員教育をしたり、色々な仕事を教えたりと、要するに余暇ができたのです。会社は人です。人材が居ないと会社は成り立ちません。ですから、この時期に社員教育を改めてきちっとやる。それから、会社に対して、会社を良くするためにはどうしたらいいのか、それぞれに夢や希望を持たせながら、色々な提案をさせる良い時期をもらったのです。逆に言えば、そういう余暇ができた。これを何とかうまく生かして、自分の企業の発展に生かす。目標を持って、きちっとやる。これが大事な事だと思っております。

今回、コロナでしみじみ感じた事を皆さんにお話ししたいと思います。今、コロナでご葬儀の形態が変わってきております。特にコロナに感染して亡くなった方は、面会する時にはお骨になった状態です。そうすると病院で亡くなってお骨にするまで、お寺さんは一切関係していません。中には、そのまま信夫山の共同墓地に埋葬し、俗名で埋葬される方も結構いらっしゃいます。ここで一つ考えなくてはならないのが、今のお寺さんの在り方について、これは存在を否定するわけではありません。ただ、葬儀のやり方ももっと質素にお金のかからないご葬儀ができるのではないかと。今回、コロナで良い経験をさせていただいております。こういう簡素化された葬儀ができるのだと、ある程度わかっていただけたのではないかと思います。実際には枕経、通夜経、本葬の読経、火葬場での読経、納骨の立ち会い読経と、何回もお勤めをしていただきます。それに一番難しい問題が、ご戒名をいただくことです。宗教法人法では、宗教行為によって得たお金に対しては非課税になります。最近のお寺さんを見てみると、戒名料は「院号」をつけたから、「清居士」「清大姉」をつけたからと、高額な金額をいとも簡単におっしゃいます。しかし、我々サラリーマンからすると、とても出せません。どこの宗派の戒名であろうと法名であろうと、ご戒名はたった二文字です。皆さんも一度、ゆっくり宗教の本を読んで下さい。人間の修行として善行を行えば、皆さんが幸せになる。お互い助け合おう。これが釈迦様の教えであって、いつの間にか「葬儀仏教」になってきたのです。ですから、皆さんも一度は宗教法人法や様々な書物をご覧になって、今のやり方がどうなのか、考えていただきたいと思っております。取り留めのない話になってしまい申し訳ございません。ご清聴ありがとうございました。

◆閉会点鐘 会長

福島北高校出前教室

令和3年1月13日(水)
講師：白川敏明会員(選挙権について)
秋葉一彦会員(金融機関の仕事)

・マネープラン)



白川敏明会員

秋葉一彦会員